

緊急呼出電話システム

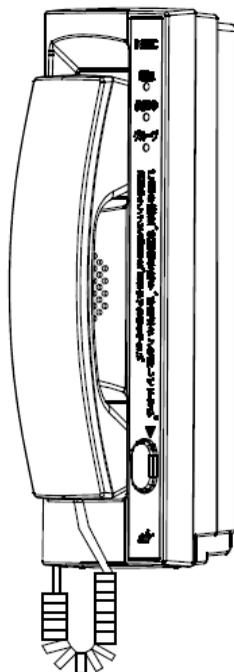
# ガイドホン air

## 取扱説明書

このたびは、ガイドホン air をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお取り扱いください。

また、お読みになった後も必要ときにすぐに見られるように大切に保管して下さい。



# 安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## ■絵表示の説明

 <b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 <b>お願い</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

## ■図記号の説明

 <b>&lt;禁止&gt;</b> 禁止事項を示しています。	 <b>&lt;接触禁止&gt;</b> 手で触れてはいけないことを示しています。
 <b>&lt;一般指示&gt;</b> 指示に従うよう強制事項を示しています。	 <b>&lt;ぬれ手禁止&gt;</b> ぬれた手で触れてはいけないことを示しています。
 <b>&lt;分解禁止&gt;</b> 分解や改造を禁止することを示しています。	 <b>&lt;水場禁止&gt;</b> 風呂、シャワー室など水場での使用禁止を示しています。
 <b>&lt;電源プラグを抜く&gt;</b> 電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。	

 **危険**

人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

	<p>●電池パックの充電は、単体では充電せず本商品に装着して行ってください。</p> <p>その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。</p>
	<p>●電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく挿し込んでください。</p> <p>電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品を分解・改造しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。なお内蔵の無線ユニットを改造すると電波法違反になります。</p>
	<p>●電池パックを分解、改造しないでください。</p> <p>電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。</p>
	<p>●付属のACアダプタ、電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。</p> <p>他の商品、用途で使用すると、液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。</p>
	<p>●電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・火の中に投入したり、加熱しない。</li><li>・直接はんだ付けしない。</li><li>・プラス・マイナスを針金などの金属類で短絡しない。</li><li>・水や海水につけたり、ぬらさない。</li><li>・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。</li></ul> <p>電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。</p>
	<p>●電池パック内部の液が入ったときは、こすらずにすぐきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。</p> <p>そのままにしておくと、失明のおそれがあります。</p>
	<p>●電池パックは定期的に交換してください。</p> <p>交換時期を過ぎて使用した場合、電槽の破損により漏電の原因となることがあります。電池パックの交換については、販売店にご依頼ください。</p>



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

	<p>●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。</p> <p>お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
	<p>●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などがに入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を挿し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。</p> <p>電池パックの破損、液もれにより火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。</p>
	<p>●電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちにきれいな水で洗い流してください。</p> <p>そのままにしておくと、皮膚に障害を起こすおそれがあります。</p>
	<p>●本商品のそばに水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品その他の容器、または小さな金属等を置かないでください。</p> <p>こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●ACアダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●ぬれた手で本商品进行操作しないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。</p> <p>火災・感電の原因となることがあります。</p>



**警告**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

	<ul style="list-style-type: none"><li>● ACアダプタのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物をのせたり、加熱したりしないでください。 火災・感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● ぬれた手で電源プラグや電話機プラグを抜き挿ししたり、端子台に触れたりしないでください。 感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに挿し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。 ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 直射日光の当たるところや暖房設備、ポイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。 内部の温度が上がリ、火災の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所や湿気の多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本商品を落下させたり、強い衝撃をあたえたり、投げたりしないでください。 火災・感電・故障の原因になります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 近くで雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源アダプタには触れないでください。 感電の原因となることがあります。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● PHSの使用を禁止されている区域では、使用しないでください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本商品から異常音が聞こえたり、異常に熱いときは、電源プラグを抜いてください。 そのまま使用されると、火災・感電の原因になります。</li></ul>



**注意**

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	<p>●本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。 重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。</p>
	<p>●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品に乗らないでください。 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。</p>
	<p>●電源を抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 ACアダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品とACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。 キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品を設置する場所や設置のしかたは、以下のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仰向け、横倒し、逆さまなど規定以外で設置しない。</li><li>・風通しの悪い場所に設置しない。</li><li>・じゅうたんや布団の上に置かない。</li><li>・ゴミやほこりの多い場所に置かない。</li></ul> <p>火災・故障の原因となることがあります。</p>
	<p>●長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて電池パックを取り外してください。 火災の原因となることがあります。</p>
	<p>●本商品やACアダプタのコードを熱器具に近づけないでください。 溶けて火災・感電の原因となることがあります。</p>

**STOP** お願い

本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

- 本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しなかつたり、故障することがあります。
- 磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 外部アンテナは、必ず指定のアンテナをご使用ください。故障の原因になります。
- アンテナは適切な場所に設置してください。本商品の性能を発揮できないことがあります。
- 本商品は音声をデジタル処理したのち電波を送信する方式のため、電波が第三者によって傍受されても通話内容の漏洩を防ぐことができます。しかし、第三者が特殊手段を講じた場合には、盗聴を完全に防ぐことはできません。この点に十分配慮してご使用ください。
- 本商品を設置する前に、その設置場所が契約されるPHS通信事業者の基地局との通信が十分に入ることを確認してください。
- 基地局からの電波の強さが変動する場所（車往來の激しい場所、電車線路の近傍等）へは設置しないでください。安定動作しくなります。

**●電波障害自主規制について**

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。  
VCCI-A

**●輸出に関する注意事項**

本商品（ソフトウェア含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。また当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

**●ご注意**

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本商品の故障、誤動作、天災、不具合あるいは停電などの外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (4) 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

# 目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
お使いになる前に	10
特長	10
セットの確認	11
各部の名称とはたらき	12
基本的な使いかた	13
ガイドホン通報	13
電話を受ける	14
便利な使いかた	15
グループ切替	15
センサ通報	15
IDコード送出機能	15
通報巡回機能	16
着信自動応答	16
テレコントロール機能	16
通話中の便利機能	17
設置工事	18
設置工事のフローチャート	18
設置工事前の確認	19
ベースを開ける	20
電池パックをセットする	20
外部アンテナとACアダプタの接続	21
ベースを閉める	22
壁掛け工事	23
配線工事	24
電源を入れる	26
システムデータの設定	26
開通試験	26

<b>設定</b> .....	<b>27</b>
設定方法 .....	27
システムデータ .....	28
PBダイヤル番号の入力値 .....	30
電話機設定方法 .....	31
遠隔操作設定方法 .....	34
<b>こんなときは</b> .....	<b>37</b>
停電になったときは .....	37
故障かな?と思ったら .....	37
<b>保守</b> .....	<b>38</b>
電池パックの交換 .....	38
アフターサービス .....	38
<b>主な仕様</b> .....	<b>39</b>

## お使いになる前に

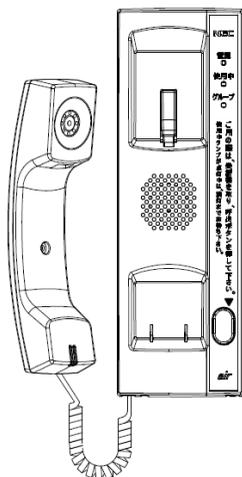
### 特長

ガイドホン air は、PHS回線を使用する緊急呼出電話装置です。簡単な操作で電話がかけられ、連絡先と通話ができます。

各種センサを接続すれば、センサ通報機能もご利用いただけます。

#### ■ガイドホン通報

ハンドセットをあげて呼出ボタンを押すだけで、予め登録された宛先に電話がかけられます。



#### ■センサ通報

市販のセンサを接続し、センサの異常を検知すると予め登録された宛先に通報します。

#### ■テレコントロール機能

遠隔操作で、接点出力の制御やスピーカ呼出ができます。

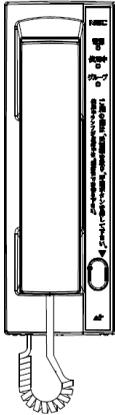
#### ■停電バックアップ

電池パックにより、停電のときでもご利用できます。

## セットの確認

はじめてお使いになる前に、本体および付属品をご確認ください。万一、足りないものがあったときは、販売店にご連絡ください。

### ■本体



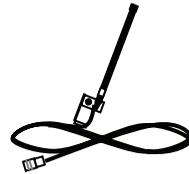
### ■付属品



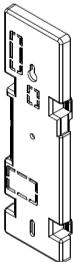
ACアダプタ



電池パック



外部アンテナ



壁掛け用品



ネジ（2本）



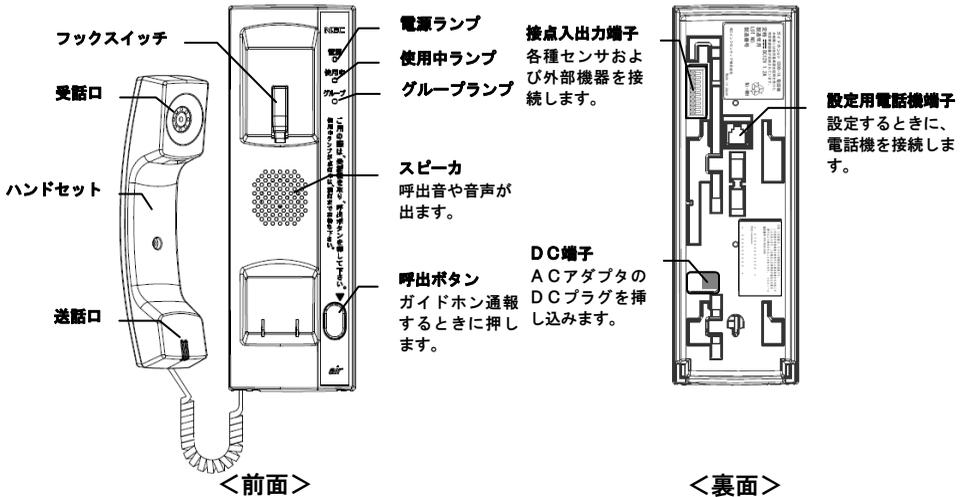
取扱説明書



保証書

## 各部の名称とはたらき

### ■各部の名称



### ■ランプ表示

ランプの種類		ランプ表示	現在の状態
電源ランプ		緑：点灯	通常（電源が入っている）
		緑：遅い点滅	停電中
		緑：速い点滅	装置が故障した
使用中ランプ		赤：点灯	通話中／通信中
		赤：点滅	発信中／着信中
グループランプ※1	グループ状態表示	消灯	Aグループ宛先の状態
	電波表示	赤：点灯	Bグループ宛先の状態
		緑：点灯	電波がかなり強い
		緑：点灯時間が長い点滅 （点灯時間は約1秒）	電波がやや強い
		緑：点灯と消灯が同じ間隔の点滅 （点灯時間は約0.5秒）	電波がやや弱い
		緑：点灯時間が短い点滅 （点灯時間は約0.1秒）	電波がかなり弱い
	赤：点灯時間が短い点滅 （点灯時間は約0.1秒）	圏外	

※1：グループランプは、グループ状態表示と電波表示の2種類を表示します。

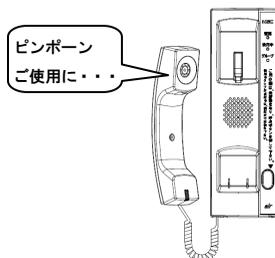
# 基本的な使いかた

## ガイドホン通報

お問い合わせ先に、簡単な操作で電話がかけられます。

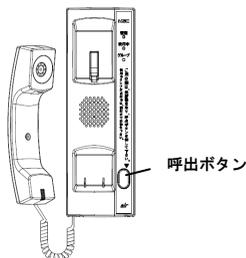
### ①ハンドセットをあげます。

『ピンポーン、ご使用になっている電話機の  
呼出ボタンを押してください』  
という音声ガイダンスが受話口から聞こえます。



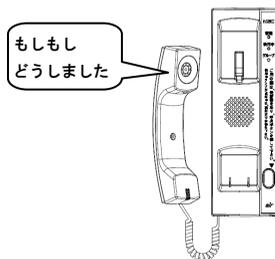
### ②呼出ボタンを押します。

お問い合わせ先へ自動で電話します。



### ③連絡先の方がでたら通話ができます。

ハンドセットで通話ができます。



## ワンポイント

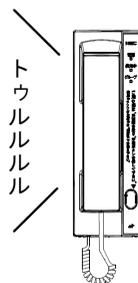
- ◆ガイドホン通報を使用するには、予め連絡先の電話番号を登録しておく必要があります。
- ◆使用中ランプが、点滅または点灯しているときは、使用できません。
- ◆ハンドセットをあげたときの音声ガイダンスは、6回まで繰り返します。音声ガイダンスが聞こえなくなったら、呼出ボタンを押してもガイドホン通報ができませんので、一度ハンドセットを戻してください。

## 電話を受ける

電話がかかってくると呼出音が鳴り、ハンドセットをあげると通話ができます。

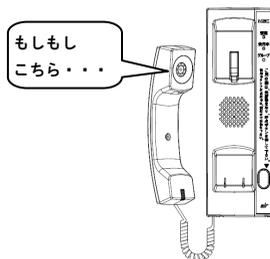
### ①電話がかかってきます。

『トゥルルルル… トゥルルルル…』  
という呼出音がスピーカから聞こえます。



### ②ハンドセットをあげます。

ハンドセットで通話ができます。



### ワンポイント

- ◆工場出荷状態の場合、システムデータの着信応答設定（アドレス51）が「1：着信自動応答」となっているため、電話がかかってきても呼出音が鳴らず電話を受けられません。電話がかかってきたとき電話を受けるには、着信応答設定を「0：ハンドセット応答」に変更してください。（P29）
- ◆電話を受ける方法は、「ハンドセット応答」と「着信自動応答」がありますが、どちらか一方しか使用できません。

# 便利な使いかた

## グループ切替

ガイドホン通報の宛先をAグループ／Bグループの2つのグループに切り替えられます。グループを切り替えるには、以下の方法があります。

- グループ切替端子によるスイッチ切替 (☞P 24)
- 電話機設定による切替 (☞P 27)
- 遠隔操作設定による切替 (☞P 27)

## センサ通報

センサ入力1またはセンサ入力2の端子に市販のセンサを接続し、センサの異常を検知するとセンサ通報宛先に自動で通報します。(☞P 24)

センサ通報宛先は予め電話番号を登録する必要があります。(☞P 28)

## IDコード送出機能

連絡先が電話にでたとき、IDコードを送出し設置先などの識別ができます。IDコード送出機能を使用するには予め登録が必要です。(☞P 28)

### ■音声方式

固定の音声メッセージを流す通報方式です。

音声メッセージは、以下のようになります。

- ガイドホン通報の場合：『こちらは、〇〇〇です』
- センサ入力1の場合：『こちらは、〇〇〇です異常発生1』
- センサ入力2の場合：『こちらは、〇〇〇です異常発生2』

「〇〇〇」は、  
IDコード番号です。  
(☞P 28)

センサ通報の場合、1回分の音声メッセージを聞かないうちに電話が切れると、通報巡回機能により次の宛先へ通報します。

### ■データ方式

連絡先にセンタ装置をおき、データを送出する通報方式です。データはPB信号を使用します。

送出するデータは、以下のようになります。

- ガイドホン通報の場合：[O][O][O]
- センサ入力1の場合：[O][O][O][#][1][1]
- センサ入力2の場合：[O][O][O][#][1][2]

[O][O][O]は、  
IDコード番号です。  
(☞P 28)

データ方式は、データの送出が終了するまでに電話が切れると、通報巡回機能により次の宛先へ通報します。

## 通報巡回機能

ガイドホン通報やセンサ通報は、連絡先が正しく受ければその宛先で通報が終了します。もし、通報先が話し中などで電話がつかない場合や音声方式またはデータ方式の通報が正しく受けられなかった場合は、第2宛先、第3宛先へ通報することができます。通報巡回機能を使用するには、Aグループ、Bグループまたはセンサ通報ごとに、第2宛先または第3宛先まで電話番号を登録する必要があります。(☞P28)  
センサ通報は、第1宛先から第3宛先までの通報を3回繰り返します。

## 着信自動応答

電話がかかってきたとき、本装置を自動で応答させることができます。応答したあと、暗証番号を入力すると、テレコントロール機能または遠隔操作設定が利用できます。

### ①連絡先から電話をかけると自動で応答します。

『暗証番号を入力してください。』

という音声を連絡先の電話機へ流します。

暗証番号の初期値は『0000』の4桁です。(☞P28)

### ②連絡先の電話機からPBダイヤルで暗証番号を入力し(☎)を押します。

『番号を入力して下さい』

という音声を連絡先の電話機へ流します。

### ③以後、遠隔操作が利用できるようになります。

遠隔操作で利用できる機能には、以下のようなものがあります。

- テレコントロール機能
- 遠隔操作設定 (☞P27)

### ワンポイント

- ◆暗証番号は30秒以内に入力してください。30秒経過すると自動で電話が切れます。
- ◆暗証番号の入力を間違えたら、一度(☎)を入力し最初から暗証番号を入力し直してください。

## テレコントロール機能

着信自動応答で暗証番号認証が成功したあと、連絡先の電話機からPBダイヤルを使って、テレコントロール機能が利用できます。

### ■接点出力制御

接点出力1または接点出力2をワンショット出力（1秒間メーク）できます。

着信自動応答させ暗証番号を入力します。（☞P16）

一度 $\#$ を入力したあと、以下の操作ができるようになります。

- ・ $\#$ ③①を入力：接点出力1をワンショット出力
- ・ $\#$ ③②を入力：接点出力2をワンショット出力
- ・ $\#$ ⑨⑨を入力：テレコントロール機能を終了し、電話を切ります。

### ■スピーカ呼出

スピーカをオンにして、音声（話し声）または呼出音で周囲の人を呼び出せます。

着信自動応答させ、暗証番号を入力します。（☞P16）

以下の操作ができるようになります。

- ・①①を入力：スピーカから音声（話し声）を流します。
- ・②①を入力：スピーカから呼出音が鳴ります。
- ・ $\#$ ⑨⑨を入力：テレコントロール機能を終了し、電話を切ります。

### ワンポイント

- ◆1分間何も入力しないと、テレコントロール機能を終了し自動で電話を切ります。
- ◆スピーカ呼出のとき、本装置のハンドセットをあげると通話ができます。

## 通話中の便利機能

### ■通話時間制限

ハンドセットで通話する時間を制限し、自動で電話を切ります。電話を切る30秒前に、警告音が聞こえます。電話を切らずそのまま通話したいときは、連絡先の電話機からPBダイヤルで $\#$ を押すか本装置の呼出ボタンを押すと、10分通話を延長できます。通話時間制限を使用するには、予めシステムデータの設定が必要です。（☞P28）

### ■通話中の接点出力制御

ハンドセットで通話しているときでも接点出力1または接点出力2をワンショット出力（1秒間メーク）できます。通話中の接点出力制御を使用するには、予めシステムデータの設定が必要です。（☞P29）

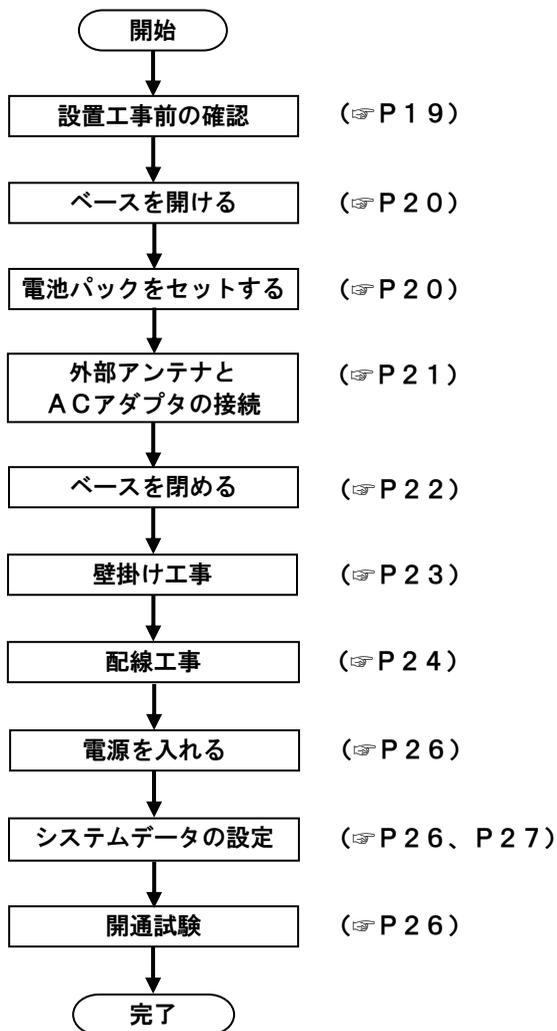
通話しているときに、連絡先の電話機からPBダイヤルで以下の番号を入力します。

- ・③① $\ast$ を入力：接点出力1をワンショット出力
- ・③② $\ast$ を入力：接点出力2をワンショット出力

# 設置工事

## 設置工事のフローチャート

以下のフローチャートに従って設置工事を行なってください。



## 設置工事前の確認

本装置を使用するには、予め株式会社ウィルコムとの回線契約が必要です。

### ■お客様要求の確認

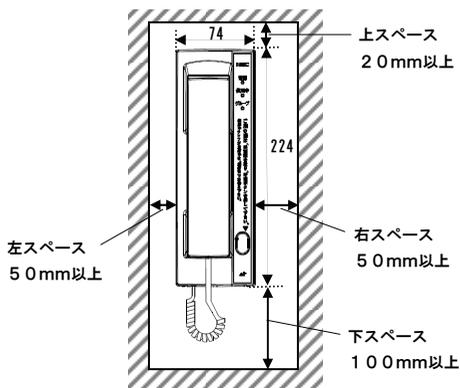
設置工事する前にお客様が使用する機能、外部機器および電話番号を確認してください。

### ■設置環境の確認

設置環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度：0～40℃</li> <li>・湿度：20～80%</li> <li>・急激な温度、湿度の変化、結露がないこと。</li> </ul>
設置場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直射日光、暖房器具等で高温、多湿にならない場所。</li> <li>・著しく温度の低下しない場所。</li> <li>・振動、衝撃、ゴミ及びホコリが少ない場所。</li> <li>・水、薬品類（ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等）のかかる恐れのない場所。</li> <li>・溶接機、高周波ミシンなど電氣的ノイズを発生するものやラジオ、テレビ、携帯無線機など高周波信号を扱っている機器が近くにない場所。</li> <li>・壁掛け、壁埋め込みの取り付け場所は、十分な強度のある壁であること。</li> <li>・電池パックの交換や設定操作のため、本装置の左右にスペースがあること。</li> </ul>
電源設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力電圧：AC100V±10V 50/60Hz</li> <li>・24時間電源が供給されていること。</li> <li>・電源コンセントが近くにあること。</li> </ul>
電波エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社ウィルコムが提供する公衆PHS回線の電波エリア内であること。</li> <li>・電波状況が不明な場合は、株式会社ウィルコムにお問い合わせください。</li> </ul>

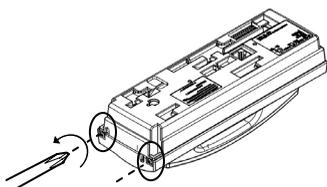
### ■壁掛け場所の確認

右図のとおり、壁掛け工事の前に設置位置の周辺に空きスペースがあるか確認してください。

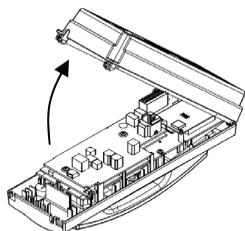


## ベースを開ける

①本装置の下面のネジ2本を半回転緩めます。



②ベースの下側を持って開けます。

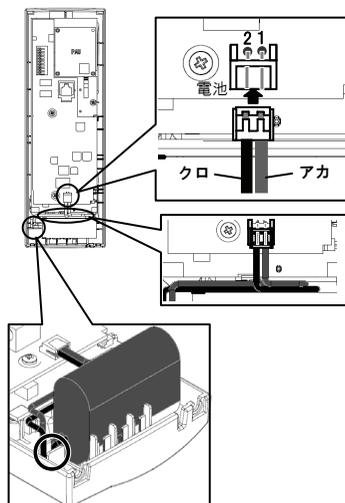


## 電池パックをセットする

①電池パックのコネクタを電池パック端子に挿し込みます。コネクタと電池パックのケーブルは、以下の向きで挿し込んでください。

- ・コネクタ1番と電池パックケーブル“アカ”
- ・コネクタ2番と電池パックケーブル“クロ”

②電池パックはケーブルの根元が下になるようにホルダーに装着します。ケーブルは隙間を通して、浮かないようにはわせませす。



### ワンポイント

◆電池パックを交換するには？

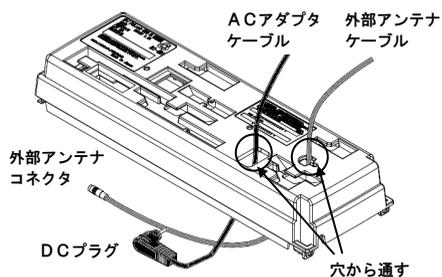
電源プラグを抜いてベースをはずした状態で、電池パックのコネクタを抜き電池を交換します。

◆電池パックは、フル充電に48時間以上かかります。

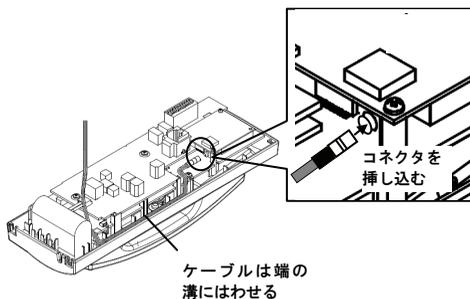
◆電池パックの使用期限は3年です。停電がない場合でも3年ごとに交換してください。

## 外部アンテナとACアダプタの接続

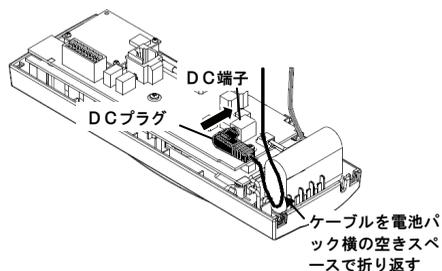
- ①外部アンテナケーブルのコネクタとACアダプタのDCプラグをベースの外側から内側へ通します。それぞれ通す穴を間違えないように注意してください。



- ②外部アンテナケーブルのコネクタを内蔵の無線ユニットにロックするまで押し込みます。外部アンテナのケーブルは、表面カバー端の溝にはわせます。

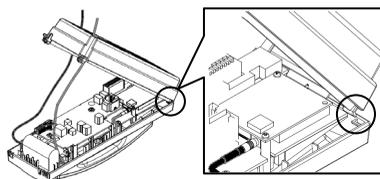


- ③DC端子にDCプラグを押し込みます。ACアダプタのケーブルは、電池パック横の空きスペースで折り返します。

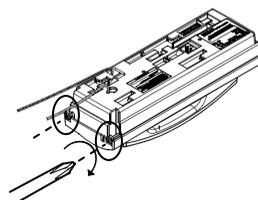


## ベースを閉める

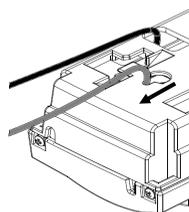
- ①表面カバーのフックにベース上側のツメをあわせ、少し押し込みます。フックとツメは、左右にあります。



- ②ベースを閉め下側のネジ2本を締めます。



- ③外部アンテナケーブルをベース穴下の溝に固定します。

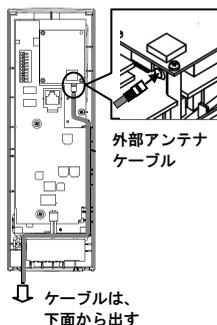


### ワンポイント

◆外部アンテナケーブルとACアダプタケーブルは、裏面ではなく下面から出すこともできます。

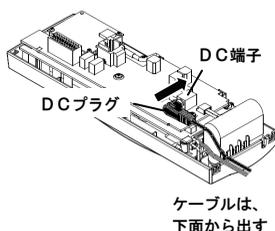
①外部アンテナ接続

外部アンテナケーブルのコネクタを無線ユニットに挿し、ケーブルを溝にはわせて下面から出します。



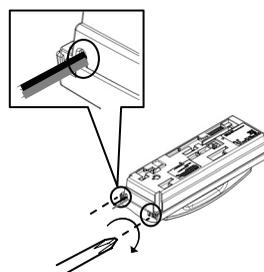
②ACアダプタ接続

DC端子にDCプラグを押し、ケーブルを下面から出します。



③ベースを閉める

ベースを閉めネジ2本を締めます。ベースを閉めるときケーブルをかまないように注意してください。

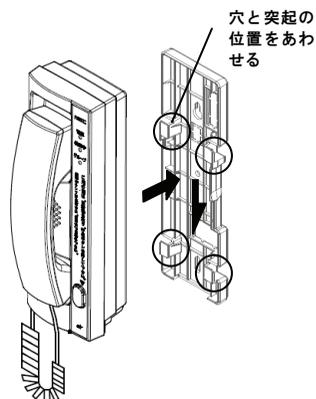
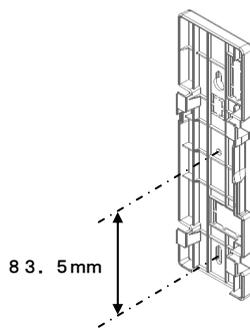


## 壁掛け工事

### ■壁掛け設置方法

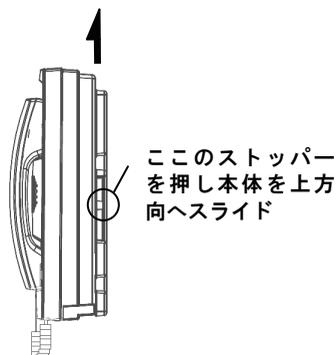
- ①付属の壁掛け用品の取り付け位置を決めます。  
付属のネジ1本を上側の取り付け穴に仮止めします。
- ②下側の取り付け穴位置を決め、もう1本のネジを仮止めしたら、上側ネジと下側ネジを締めます。
- ③本体裏面の穴と壁掛け用品の突起の位置をあわせて挿入し、下方向にスライドさせます。

配線工事（☞P24）をおこなう場合は、配線工事の後に本体を取り付けてください。



### ■壁掛け設置のはずし方

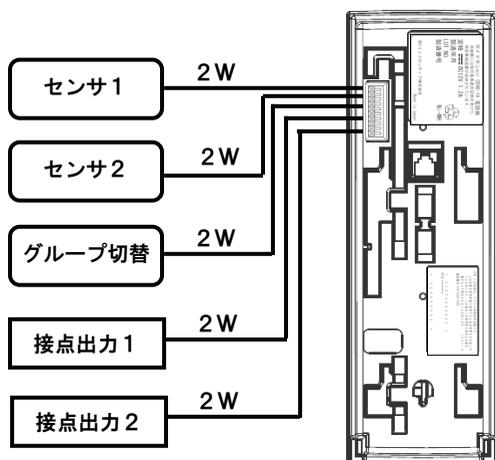
- ①右側面の壁掛け用品のストッパーを押します。
- ②本体を上方向にスライドさせます。



## 配線工事

各種センサ、市販スイッチおよび外部機器などを接点入出力端子に接続します。  
配線工事をする場合は、壁掛け工事（P 23）前におこなってください。

### ■配線図



### ■グループ切替端子のスイッチ状態

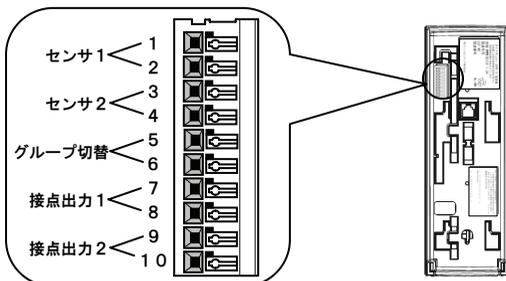
グループ切替端子に接続する市販スイッチとグループの状態は、以下のとおりです。

スイッチ状態	グループ状態	参考
ブレーク	Aグループ	Aグループのみ使用する場合は、グループ切替端子には何も接続しません。
メーカー	Bグループ	

### ■接続端子の仕様

接続端子名	仕様	使用可能線路径
センサ1 センサ2 グループ切替	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電圧接点入力</li> <li>・配線ループ抵抗値：100Ω以内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単線：φ0.32mm～φ0.65mm</li> <li>・より線：0.08mm<sup>2</sup>～0.32mm<sup>2</sup></li> </ul>
接点出力1 接点出力2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無極性（リレー）接点出力</li> <li>・定格：DC30V 1A</li> </ul>	

■端子番号と用途

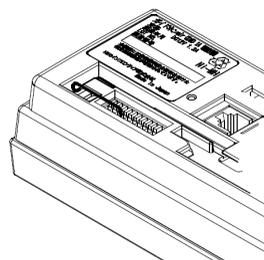
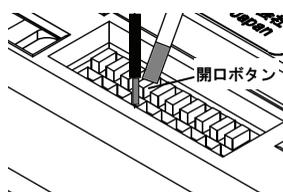


端子番号	端子名称	用途
1	S1	センサ1入力
2	COM	センサ1共通
3	S2	センサ2入力
4	COM	センサ2共通
5	S3	グループ切替入力

端子番号	端子名称	用途
6	COM	グループ切替共通
7	SOUT1	接点出力1
8	SOUT1	接点出力1
9	SOUT2	接点出力2
10	SOUT2	接点出力2

■ケーブルの挿し込み方

- ①ケーブルは、芯線が9～10mm程度となるように被覆をきります。
- ②先端幅2.6mm以下のマイナスドライバーなどで、コネクタの開口ボタンを押し、ケーブルを挿し込みます。
- ③ケーブルは、壁掛けのとき線がかまないように引き回します。



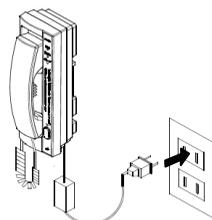
## 電源を入れる

全ての工事が終了したら、電源を入れます。

### ■電源を入れる

ACアダプタの電源プラグをコンセントに挿します。

約5秒で電源ランプ（☞ P 1 2）が点灯します。



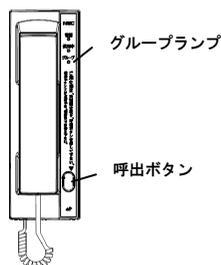
### ワンポイント

◆電源ランプが【緑：速い点滅】しているときは故障です。販売店にご連絡ください。

### ■電波の強さを確認する

①ハンドセットをあげずに呼出ボタンを5秒以上押します。

②10秒間、グループランプに電波の強さを表示（☞ P 1 2）します。



### ワンポイント

◆設置の目安として電波の表示が、【緑：点灯時間が長い点滅（電波がやや強い）】以上あるか確認します。電波が弱い場合は、アンテナの設置場所を調整してください。

## システムデータの設定

本装置の機能や外部機器を使用するため、システムデータを設定します。

システムデータの設定は、「設定」（☞ P 2 7）をご覧ください。

## 開通試験

システムデータの設定が終了したら、開通試験をおこないます。ガイドホン通報、センサ通報および外部機器が、正しく動作するか確認してください。

# 設定

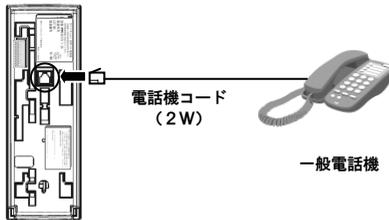
## 設定方法

### ■設定方法の種類

設定には、以下の2つの方法があります。

#### ●電話機設定方法 (☞ P 3 1)

- ・ 設定用電話機端子に一般電話機を接続して設定する方法です。
- ・ 停電中は、電池パックがあっても使用できません。必ずAC電源を接続してください。
- ・ 番号の入力は一般電話機のPBダイヤルを使用し、本装置のスピーカから送出されるガイダンスで設定内容を確認します。



#### ●遠隔操作設定方法 (☞ P 3 4)

- ・ 本装置に電話をかけ着信自動応答機能を利用し、遠隔操作で設定する方法です。
- ・ 番号の入力は、連絡先の電話機からPBダイヤルで行ないます。
- ・ 工場出荷時は、遠隔操作設定ができるシステムデータの設定値になっています。

### ■設定項目と内容

設定できる項目と内容は、設定方法ごとに以下のようになります。

設定項目	設定する内容	電話機設定	遠隔操作設定
システムデータ変更	システムデータの設定値を新規に登録または既定値を変更します。	○	○
システムデータ確認	システムデータの設定値を確認します。	○	○
システムデータ初期化	システムデータを初期値に戻します。	○	×
グループ状態確認	現在のグループの状態を確認します。	○	○
Aグループへ切替	Aグループの状態へ切り替えます。	○	○
Bグループへ切替	Bグループの状態へ切り替えます。	○	○

○：できる ×：できない

### ワンポイント

- ◆ Aグループ/Bグループの切替は、グループ切替端子の状態に関わらず強制的に切り替えます。

## システムデータ

システムデータのアドレス、項目及び設定値の一覧は、下表のとおりです。

システムデータ一覧表（1）

アドレス	項目	設定内容	初期値	お客様 設定値		
1 1	ガイドホン通報 の電話番号設定	Aグループ第1宛先	・ Aグループ状態でガイドホン通報するときの電話番号。 設定値：0～9 桁数：3 2桁まで	なし		
1 2		Aグループ第2宛先				
1 3		Aグループ第3宛先				
1 4		Bグループ第1宛先				
1 5		Bグループ第2宛先				
1 6		Bグループ第3宛先				
1 7	センサ通報先の 電話番号	センサ通報第1宛先	・ センサ1またはセンサ2が通報するときの電話番号。 設定値：0～9 桁数：3 2桁まで	なし		
1 8		センサ通報第2宛先				
1 9		センサ通報第3宛先				
2 1	IDコード送出 方式設定	Aグループ第1宛先	・ 上記アドレス11～16のIDコード送出方式を設定。 0：送出しない（すぐに通話） 1：音声方式 2：データ方式	1		
2 2		Aグループ第2宛先				
2 3		Aグループ第3宛先				
2 4		Bグループ第1宛先				
2 5		Bグループ第2宛先				
2 6		Bグループ第3宛先				
2 7		センサ通報第1宛先			・ 上記アドレス17～19のIDコード送出方式を設定。 1：音声方式 2：データ方式	1
2 8		センサ通報第2宛先				
2 9		センサ通報第3宛先				
4 1	IDコード番号	・ 通報及び着信自動応答のとき送出するIDコード。 設定値：0～9、*、#（*は無音、#は「の」） 桁数：16桁まで	なし			
4 2	電話機番号	・ 設置先の電話機を識別するための固有の電話機番号。 設定値：1～99（番号） 桁数：2桁まで	1			
4 3	音声方式のIDコード送出回数	・ アドレス21～29の設定で「1：音声方式」を使用するときのIDコードを送出する回数を設定します。 設定値：1～9（回）	2			
4 4	音声方式のIDコードメッセージ設定	・ アドレス21～29の設定で「1：音声方式」を使用するときのIDコードのメッセージ内容を設定します。 0：IDコードを送出する 1：IDコードと電話機番号を送出する	0			
4 5	センサ通報の通話状態	・ センサ通報でIDコードを送出したあとの通話状態。 0：通話せずに電話を切る 1：スピーカから話した声を流す	0			
4 6	通話時間制限	・ ハンドセットで通話したときの時間を制限できます。 0：制限しない                   2：20分 1：10分                           3：30分	0			

システムデータ一覧表（２）

アドレス	項目		設定内容	初期値	お客様 設定値
5 1	着信自動応答機能	着信応答設定	・電話がかかってきたときの応答方法を設定します。 0：ハンドセット応答 1：着信自動応答 2：着信拒否	1	
5 2		暗証番号	・着信自動応答したときの暗証番号を設定します。 設定値：0～9 桁数：4桁	0 0 0 0	
5 3		ＩＤコードの送出設定	・着信自動応答したとき、ＩＤコードの送出有無を設定します。 0：ＩＤコード送出不し 1：ＩＤコード送出あり	0	
5 4		着信自動応答するまでの時間	・電話がかかってきてから、着信自動応答するまでの時間を設定します。 0：すぐに応答 1：1 0 秒後に応答	0	
5 5		応答方式設定	・着信自動応答したときの応答方式を設定します。 0：一般応答方式 1：特殊応答方式	0	
5 7	通話中の接点出力制御設定		・ハンドセット通話中の接点出力制御有無を設定します。 0：制御なし 1：制御あり	0	
6 1	センサ１検出設定	検出方式	センサ１の接点入力方式を設定します。 0：メーク 1：ブレーク	0	
6 2		検出時間	センサ１の検出時間を設定します。 0：すぐに検出      3：1 0 秒 1：0. 3 秒          4：3 0 秒 2：5 秒	1	
6 3	センサ２検出設定	検出方式	センサ２の接点入力方式を設定します。 0：メーク 1：ブレーク	0	
6 4		検出時間	センサ２の検出時間を設定します。 0：すぐに検出      3：1 0 秒 1：0. 3 秒          4：3 0 秒 2：5 秒	1	
7 1	接点出力１の動作設定		接点出力１の制御動作を設定します。 0：通報動作中メーク出力 1：テレコントロール機能で使用する	1	
7 2	接点出力２の動作設定		接点出力２の制御動作を設定します。 0：回線通話中メーク出力 1：テレコントロール機能で使用する	1	

## PBダイヤル番号の入力値

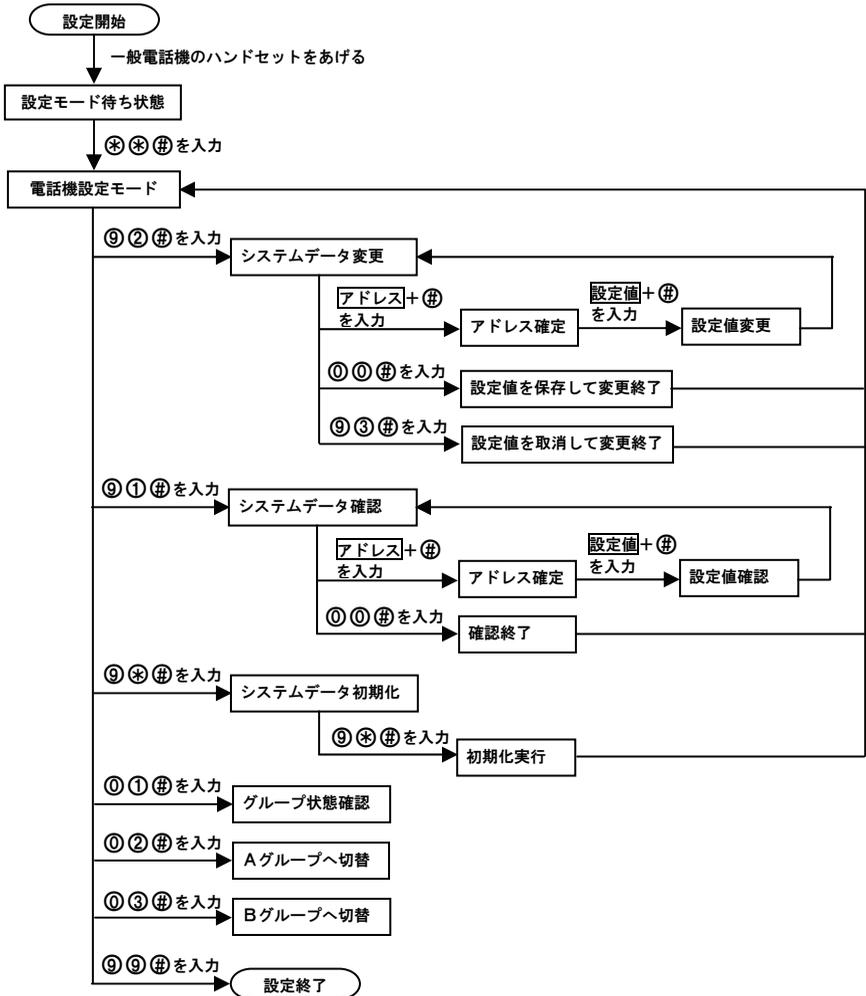
PBダイヤルの番号は、設定する項目や設定値によって入力値が異なります。下表を見ながらPBダイヤルを入力してください。

PBダイヤル番号の入力値一覧表

PBダイヤル番号	設定項目の入力、システムデータアドレスの入力	システムデータ設定値の入力	説明
①	0	0	ダイヤル番号、数値
②	1	1	ダイヤル番号、数値
③	2	2	ダイヤル番号、数値
④	3	3	ダイヤル番号、数値
⑤	4	4	ダイヤル番号、数値
⑥	5	5	ダイヤル番号、数値
⑦	6	6	ダイヤル番号、数値
⑧	7	7	ダイヤル番号、数値
⑨	8	8	ダイヤル番号、数値
⑩	9	9	ダイヤル番号、数値
⊛	*	「特殊番号」	数値、特殊番号+1桁で使用
⊞	「決定」	「決定」	入力値の決定
⊛①	(使用しません)	*	数値(IDコード番号の設定値で使用)
⊛③	(使用しません)	#	数値(IDコード番号の設定値で使用)

## 電話機設定方法

### ■電話機設定方法のフローチャート



#### ワンポイント

- ◆設定値の内容をスピーカから送出しているときは、PBダイヤルを受けつけません。
- ◆1分間PBダイヤルを入力しない場合は、自動で設定を終了します。設定値を保存していないときは、変更前に戻ります。

## ■電話機設定のシステムデータ設定変更例

アドレス11に設定値「0120-123-456」を登録する場合

手順	一般電話機の操作	スピーカのガイダンス送出
1	ハンドセットをあげます。	『ピッ』
2	ⓂⓂⓃを入力します。	『ピッ』
3	⑨②Ⓝを入力します。	『92』『ピッ』
4	①①Ⓝを入力します。	『11』『変更』
5	①①②①②③④⑤⑥Ⓝを入力します。	『0120123456』『ピッ』
6	続けて変更するときは、手順4～5を繰り返します。	
7	①①Ⓝを押して設定値を保存します。	『00』『ピッ』
8	設定を終了するときは⑨⑨Ⓝを入力します。	『99』『ピッ』
9	ハンドセットを戻します。	

## ■電話機設定のシステムデータ設定確認例

アドレス41を確認する場合

手順	一般電話機の操作	スピーカのガイダンス送出
1	ハンドセットをあげます。	『ピッ』
2	ⓂⓂⓃを入力します。	『ピッ』
3	⑨①Ⓝを入力します。	『91』『ピッ』
4	④①Ⓝを入力します。	『41』『確認』
5	(設定値が「123#456」だった場合)	『123の456』『ピッ』
6	続けて確認するときは、手順4を繰り返します。	
7	①①Ⓝを押して設定値の確認を終了します。	『00』『ピッ』
8	設定を終了するときは⑨⑨Ⓝを入力します。	『99』『ピッ』
9	ハンドセットを戻します。	

■電話機設定のシステムデータ初期化  
システムデータを初期化する場合

手順	一般電話機の操作	スピーカのガイダンス送出
1	ハンドセットをあげます。	『ピッ』
2	ⓀⓀⓂを入力します。	『ピッ』
3	⑨ⓀⓂを入力します。	『ピッピッピッ』
4	もう一度⑨ⓀⓂを入力します。	『ブーッ』
5	設定を終了するときは⑨⑨Ⓜを入力します。	『99』『ピッ』
6	ハンドセットを戻します。	

■電話機設定のグループ状態確認／切替例  
現在がAグループで、グループ状態を確認しBグループへ切り替える場合

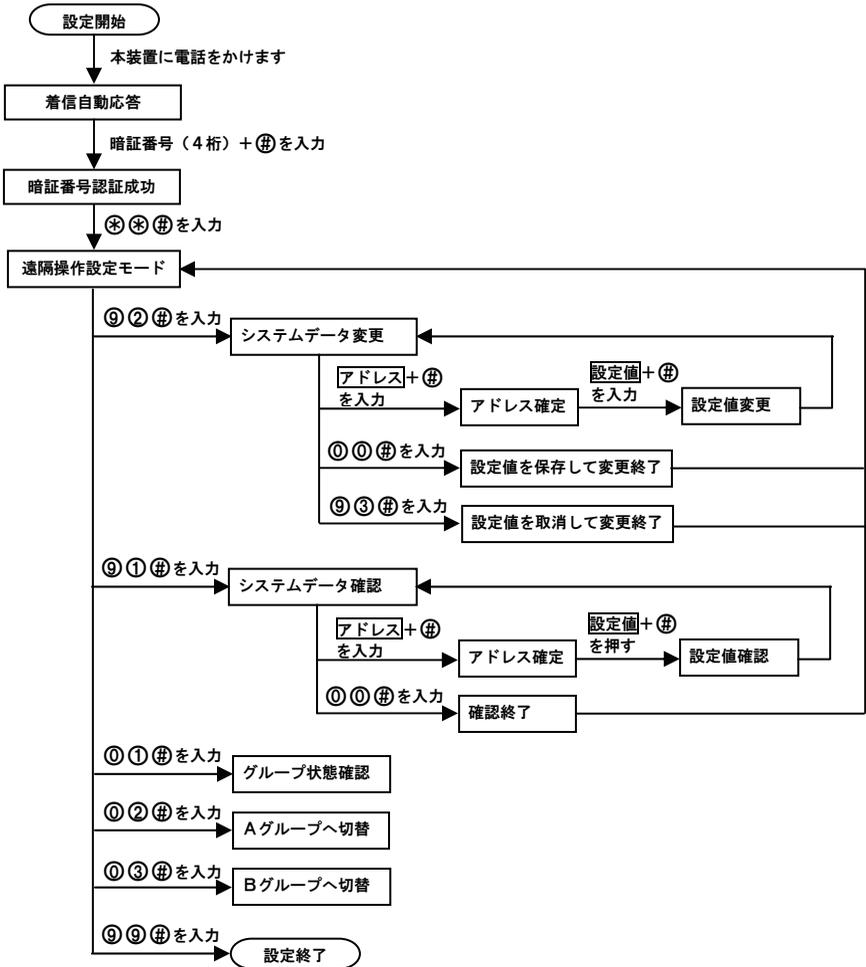
手順	一般電話機の操作	スピーカのガイダンス送出
1	ハンドセットをあげます。	『ピッ』
2	ⓀⓀⓂを入力します。	『ピッ』
3	①①Ⓜを入力します。	『Aグループです』『ピッ』
4	①③Ⓜを押しBグループへ切り替えます。	『変更』『Bグループです』『ピッ』
5	設定を終了するときは⑨⑨Ⓜを入力します。	『99』『ピッ』
6	ハンドセットを戻します。	

ワンポイント

- ◆他のアドレスを変更／確認するときは、システムデータ（☞P28、P29）をご覧になり番号や設定値を入力して下さい。
- ◆誤った番号や設定値を入力すると『ピッピッ』というエラー音を送出します。

## 遠隔操作設定方法

### ■遠隔操作設定方法のフローチャート



### ワンポイント

- ◆設定値の内容を遠隔操作側に送出しているときは、PBダイヤルを受けつけません。
- ◆1分間PBダイヤルを入力しない場合は、自動で設定を終了します。設定値を保存していないときは、変更前に戻ります。

■遠隔操作設定のシステムデータ設定変更例

アドレス11を設定値「03-1234-5678」に変更する場合

手順	遠隔操作側の操作	遠隔操作側へのガイダンス送出
1	連絡先から電話をかけます。	
2	(本装置が着信自動応答します。)	『暗証番号を入力してください』
3	暗証番号(4桁)と $\#$ を入力します。	『番号を入力してください』
4	$\ast\ast\#$ を入力します。	『ピッ』
5	$\textcircled{9}\textcircled{2}\#$ を入力します。	『92』『ピッ』
6	$\textcircled{1}\textcircled{1}\#$ を入力します。	『11』『変更』
7	$\textcircled{0}\textcircled{3}\textcircled{1}\textcircled{2}\textcircled{3}\textcircled{4}\textcircled{5}\textcircled{6}\textcircled{7}\textcircled{8}\#$ を入力します。	『0312345678』『ピッ』
8	続けて変更するときは、手順6～7を繰り返します。	
9	$\textcircled{0}\textcircled{0}\#$ を押して設定値を保存します。	『00』『ピッ』
10	設定を終了するときは $\textcircled{9}\textcircled{9}\#$ を入力します。	『99』『ピッ』
11	自動で電話が切れます。	

■遠隔操作設定のシステムデータ設定確認例

アドレス52を確認する場合

手順	遠隔操作側の操作	遠隔操作側へのガイダンス送出
1	連絡先から電話をかけます。	
2	(本装置が着信自動応答します。)	『暗証番号を入力してください』
3	暗証番号(4桁)と $\#$ を入力します。	『番号を入力してください』
4	$\ast\ast\#$ を入力します。	『ピッ』
5	$\textcircled{9}\textcircled{1}\#$ を入力します。	『91』『ピッ』
6	$\textcircled{5}\textcircled{2}\#$ を入力します。	『52』『確認』
7	(設定値が「0000」だった場合)	『0000』『ピッ』
8	続けて確認するときは、手順6を繰り返します。	
9	$\textcircled{0}\textcircled{0}\#$ を押して設定値の確認を終了します。	『00』『ピッ』
10	設定を終了するときは $\textcircled{9}\textcircled{9}\#$ を入力します。	『99』『ピッ』
11	自動で電話が切れます。	

## ■遠隔操作設定のグループ状態確認／切替例

現在がAグループで、グループ状態を確認しBグループへ切り替える場合

手順	遠隔操作側の操作	遠隔操作側へのガイダンス送出
1	連絡先から電話をかけます。	
2	(本装置が着信自動応答します。)	『暗証番号を入力してください』
3	暗証番号(4桁)と $\text{\#}$ を入力します。	『番号を入力してください』
4	$\text{\textcircled{*}}\text{\textcircled{*}}\text{\textcircled{\#}}$ を入力します。	『ピッ』
5	$\text{\textcircled{0}}\text{\textcircled{1}}\text{\textcircled{\#}}$ を入力します。	『Aグループです』『ピッ』
6	$\text{\textcircled{0}}\text{\textcircled{3}}\text{\textcircled{\#}}$ を入力し、Bグループへ切り替えます。	『変更』『Bグループです』『ピッ』
7	設定を終了するときは $\text{\textcircled{9}}\text{\textcircled{9}}\text{\textcircled{\#}}$ を入力します。	『99』『ピッ』
8	自動で電話が切れます。	

## ワンポイント

- ◆他のアドレスを変更／確認するときは、システムデータ(☞P28、P29)をご覧になり番号や設定値を入力して下さい。
- ◆誤った番号や設定値を入力すると『ピッピッ』というエラー音を送出します。

# こんなときは

## 停電になったときは

停電になったときでも電池パックを取り付けていれば、停電中でも使用できます。使用時間の目安は、48時間以上充電していた場合、約30分使用できます。ただし、本装置の使用頻度や外部機器の使用状態などによって、使用時間が短くなることがあります。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、次の点をご確認ください。

故障かな？と思われる症状	確認してください
電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグが抜けていませんか？</li><li>・ACアダプタのDCプラグが抜けていませんか？</li></ul>
呼出音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・着信自動応答の設定になっていませんか？</li><li>・着信拒否の設定になっていませんか？</li></ul>
ハンドセットをあげてもガイダンスが聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>・宛先の電話番号が設定されていますか？</li><li>・使用中ランプが点灯または点滅していませんか？</li></ul>
ハンドセットをあげ呼出ボタンを押しても電話がつかからない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電波が届くエリアで使用されていますか？</li><li>・ガイダンスが聞こえているときに呼出ボタンを押しましたか？</li><li>・使用中ランプが点灯または点滅していませんか？</li></ul>
通話中に雑音が入ったり、途切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>・電波が強いエリアで使用されていますか？</li><li>・外部アンテナのケーブルが正しく接続されていますか？</li><li>・外部アンテナの向きや場所を変えると良くなりませんか？</li></ul>
フル充電しても停電中使用できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電池パックが正しく取り付けられていますか？</li><li>・電池は消耗していませんか？</li></ul>

# 保守

## 電池パックの交換

停電になったときに使用できなかつたり、使用時間が短い場合は、電池パックを交換してください。また、ご使用にならなくても3年ごとに交換してください。

電池パックの交換方法は、「電池パックをセットする」(P 20)をご覧ください。

### ワンポイント

- ◆電池パックをご購入する際は、販売店にご連絡ください。
- ◆電池パックは指定のものを使用してください。

品番：CBG-012270-001

品名：2HR-4/5FAUPT-NTS-NECi

- ◆電池パックの回収について



電池パックはリサイクル可能なニッケル水素蓄電池です。交換後不要になった電池パックは、販売店または当社修理受付窓口にお持込ください。

詳細は、NECインフロンティア(株)環境ホームページをご覧ください。

<http://www.necinfrontia.co.jp/company/kankyo/index.htm>

不要になった電池の取り扱いについては、以下のことに注意してください。

- ・電池はショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- ・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- ・電池を分解しないでください。

## アフターサービス

### ■保証について

保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間中は、保証書の記載にもとづき無償で修理いたしますので、保証書は大切に保管してください。

保証期間後は、有償修理とさせていただきますので、販売店にご連絡ください。

### ■補修用部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品は（製品の性能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、7年間保有しております。原則として、部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

### ■商品廃棄について

本製品を廃棄するときには地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

## 主な仕様

### ■本体

製品名／型番	ガイドホン air／CD9D-1A 電話機
使用回線	株式会社ウィルコムが提供する公衆PHS回線※ <sup>2</sup>
通報方式	音声合成方式、データ（PB信号）方式
センサ入力	2入力、無電圧接点入力
グループ切替入力	1入力、無電圧接点入力
接点出力	2出力、無極性接点出力
電源	付属のACアダプタから給電（入力：DC12V） 予備電源：電池パック（ニッケル水素蓄電池：単三型2本パック）
消費電力	約2W
質量	約0.8Kg（電池パック含む）
外形、取付穴寸法	

※<sup>2</sup>：本体には、技術基準適合証明を受けた以下の特定無線設備が収納されています。

製造元：NECマグナスコミュニケーションズ株式会社

品名：PAU-702K

認定番号：A080984003

### ■外部アンテナ

アンテナ部	約120mm φ9.5mm
ケーブル長	約3m

### ■ACアダプタ

外形寸法	幅約43mm×奥行き約104mm×高さ約31mm （電源コードおよび突起は含まない）
質量	約0.2Kg（電源コード含む）
定格	入力：AC100V±10V 50/60Hz 出力：DC12V±5% DC2.5A

---

# NECインフロンティア株式会社

本社 〒101-8532

東京都千代田区神田司町2-3

電話：03-3259-1311（代表）